

# VideoKeeper Lite

ビデオキーパー・ライト

ビデオキーパー・ライトは、弊社製キャプチャーデバイスで映像と音声をキャプチャーするためのアプリケーションです。

## 動作に必要な必須環境と推奨環境に関して

ビデオキーパー・ライトをご利用になるためのパソコンの必須環境と推奨環境は、取扱説明書（ハードウェア編）に記載の必須環境と推奨環境となります。なお、取扱説明書（ハードウェア編）に記載の必須環境と推奨環境は対応のキャプチャーデバイスを1つ使用した場合の物です。キャプチャーデバイスを複数使用した際の必須環境と推奨環境ではありません。なお本ドライバーとアプリケーションが利用可能なOS環境は下記となります。

対応 OS : Windows7SP1/8/8.1/10(32bit/64bit)

※本書に、「試験実装の機能」や「本機能は、試験的実装のため製品の動作保証範囲には含まれません。」の様に記載された機能は、動作保証の範囲には含まれません。

## エンコード支援はQuick Sync VideoとNVENCを利用可能

1080pなど高い解像度でキャプチャーする場合はintel社CPU内蔵のGPUによるエンコード支援機能「Intel Quick Sync Video」や「nVIDIA NVENC」の使用をお勧めします。

intel Quick Sync Video や nVidia NVENC を使用すると CPU への負担を軽減することができます。

パソコンがintel Quick Sync Video に対応している場合はintel Quick Sync Video を使用できます。また、パソコンにnVIDIA社のGPUが搭載されている場合はNVENCをご利用いただけます。

※intel Quick Sync Video 対応のCPUとチップセットに関してはintel社のWebページにてご確認ください。  
※NVENC対応のGPUに関してはnVIDIA社のWebページにてご確認ください。

※パソコンの性能や利用環境、BIOSの設定によっては、この機能を利用できない場合があります。  
※intel社以外のメーカーのCPUやチップセット、intel社のハイエンド、ワークステーション向けチップセットX299、X99、X79、X58、及びP67チップセットなどでは、intel Quick Sync Video機能はご利用いただけません。

また、Xeon,Celeron,Pentium CPUもintel Quick Sync Video機能をご利用いただけません。

※グラフィックスボード（ビデオカード）などをご利用の場合は、intel Quick Sync Video機能を使用できません。

※LucidLogix社のVirtuには対応していません。

※DIYのパソコンなどをご利用で、CPUを交換するなどした場合は、intel Quick Sync Video機能が利用できなくなる場合があります。

※この様な症状が発生した場合は、intel社のグラフィック機能のドライバーを再インストールしてください。

※intel Quick Sync Videoをご利用の際は、intel社の最新グラフィックス・ドライバーをご利用ください。

※intel Quick Sync Video と nVidia NVENC を同時に使用することはできません。

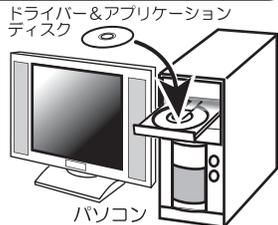
※intel社CPUでCore i シリーズであってもCPU型番の末尾に「F」が付く製品では、Quick Sync Video を利用できません。

## ビデオキーパー・ライト使用時の注意事項

- ※Windowsのサーバーエディションでの動作は確認していません。
- ※サーバー専用パソコンや、ワークステーション仕様のパソコン（及びチップセット）ではパソコン側の制限や相性などによりキャプチャー機器を正常に使用できない場合があります。業務でのご利用などを検討されているお客様は、採用予定のパソコンで、必ず事前の動作確認を行ってから導入することをお勧めします。
- ※ハードウェアオーバーレイがオンの際は、CPUの負担は軽減されますが、プレビュー画面にティアリングが発生することがあります。ハードウェアオーバーレイはできるだけ「オフ」でご利用ください。
- ※ソフトウェアによる圧縮処理のため、固定フレームレートでの動作を保証するものではありません。
- ※パソコンのハードウェア環境によっては快適なキャプチャーを行うことができない場合があります。
- ※本製品は録画時にソフトウェアによるH.264エンコード処理を行うため、パソコンのCPUリソースを著しく消費します。このため常駐アプリケーションや他のアプリケーションでCPUの使用率が高い場合は快適なキャプチャーを行うことができない場合があります。
- ※ビデオキーパー・ライトでは対応キャプチャーデバイスを2台使用し、2画面同時にプレビューしたり2画面同時録画することはできません。

## インストール

ドライバーとビデオキーパー・ライトのインストールは、付属のCD-ROMディスクをパソコンのCD-ROMドライブ（光学ドライブ）に挿入し、トレイを閉じると自動で開始することができます。インストール作業はWindowsが完全に起動した状態で、使用中の他のアプリケーションを終了した状態で行ってください。インストールが開始されたら画面の指示に従ってインストールを進めてください。もし、パソコンに光学ドライブが無い場合は弊社Webページよりダウンロードしてご利用ください。



- ※Windows Update が動作しているときはインストールできません。
- ※インストールの際はパソコンをインターネットに接続してください。
- ※利用者数の少ないアプリケーションはアンチウイルスソフトが警告を発生場合があります。
- ※お客様のパソコンのWindowsの内蔵プログラム（net Frameworkなど）の状態によってはインストールが中止されたり、正しくインストールできない場合があります。
- ※64bit版Windowsをご利用のお客様は、64bit版と32bit版どちらのビデオキーパー・ライトでもインストールは可能となっていますが、「64bit版」をご利用ください。

現在使用しているWindowsOSの仕様（32bit/64bitなど）を確認したのち、下記の手順（①～④）を参考にインストールを進めてください。

XCAPTURE-1 インストーラー	
Windows用XCAPTURE-1インストーラーです。 • VideoKeeperLite、コーデック、XCAPTURE-1ドライバーをインストールしてください。 • ドライバーをインストールする際は、パソコンをインターネットに接続してください。 • アンチウイルスソフトが検出する場合はセキュリティの設定を変更する必要があります。 (ノートアンチウイルスをご利用の場合は、データプロテクターの一時停止が必要になる場合があります)	
VideoKeeperLite (64bit版アプリケーション)	インストール ①
VideoKeeperLite (32bit版アプリケーション)	インストール ①
◎コーデック	インストール ②
◎XCAPTURE-1ドライバー	インストール ③
<b>VideoKeeper Lite</b>	インストール ④
	終了 ④

参考：それぞれのインストール作業が完了しても、インストーラー・アプリケーションは自動で終了しません。任意で「終了」ボタンを押してください。なお、XCAPTURE-1ドライバーインストール後はパソコンの再起動を要求されるため、そのまま再起動を行う場合は、「終了」ボタン④を押す必要はありません。

## ビデオキーパー・ライトの削除（アンインストール）

ドライバー、ビデオキーパー・ライト、コーデックのアンインストールは、下記のように行ってください。アンインストールを行うと、パソコンの再起動が必要になる場合があります。なお、新しいバージョンのビデオキーパー・ライト、やコーデック、ドライバーをインストール（または再インストール）する場合は「VideoKeeperLite」、「Codecs」及び「Driver\_CY3014xxxx」を、一旦削除してから再インストールする様にしてください。

- Windows7 : 「プログラムと機能」の「プログラムのアンインストールまたは変更」からアンインストールしてください。
- Windows8 / 8.1 / 10 : コントロールパネルの「プログラム」- 「プログラムのアンインストール」からアンインストールしてください（または「プログラムと機能」の「プログラムのアンインストールまたは変更」からアンインストールしてください）。

※本インストーラーやWindowsのスタートメニューからのアンインストール作業はできません。必ず、Windowsのコントロールパネルから上記の手順でアンインストール作業を行ってください。 20210329

## ビデオキーパー・ライトの機能（プレビューウィンドウ）

### 重要

### ＜必ずお読みください＞

ビデオキーパー・ライトをインストール後、初めて使用する場合は、最初に「設定」内の「保存場所と名前設定」から「録画保存場所」と「静止画保存場所」を設定してください。

この作業は必須となります。

保存場所の設定が行われない場合、録画ファイルや静止画ファイルを保存することができません。

ビデオキーパー・ライトの各部名称と機能は下記ようになります。

タイトル・バー キャプチャ・デバイス名、入力解像度、エンコード支援の情報を表示します。

**入力チャンネル** 現在選択している入力チャンネルを表示します。

**メッセージ** 録画時間や状態を表示します

**終了ボタン** アプリケーションを終了します。

**プレビュー・ウィンドウ** キャプチャー映像が表示される部分です。ここをダブルクリックするとプレビュー画面の「ウィンドウ表示」と「全画面表示」を切り替えることができます。

**入力信号を確認中**

**音量** プレビュー時の音量を調整する部分です。

**ミュート** プレビュー時の音声を消音にするボタンです。

**録画・停止ボタン** 動画の録画を開始 / 停止することができるボタンです。

**設定ボタン** 様々な設定を行うための設定ダイアログボックスを表示することができます。

**録画 / 停止** 録画 / 停止

**静止画 JPG** 静止画を記録するためのボタンです。JPEG方式で保存します。

**静止画 BMP** 静止画を記録するためのボタンです。BMP方式で保存します。

**入力切替ボタン** 入力チャンネルを選択するボタンです。

**静止画 BMP ボタン** 静止画を記録するためのボタンです。BMP方式で保存します。

**静止画 JPG ボタン** 静止画を記録するためのボタンです。JPEG方式で保存します。

## 仕様上の制限

### キャプチャー映像の表示位置のスレに関して

入力信号の違いなどによって発生する画面の表示位置のスレや表示幅の違いを改善できない場合があります。特にアナログRGB映像（パソコンのアナログRGB映像）をキャプチャーする際は、パソコンの世代やグラフィックコントローラの仕様の違いによって表示位置（キャプチャー時の画面位置）が大きくズレることがあります。この表示位置のスレは改善・調整することはできない場合があります。

### 著作権保護機能に対応する機器を接続する際の注意事項

Nintendo Switch/WiiUのHDMI信号	システム画面やゲーム画面はキャプチャー可能ですが、 HDCPが含まれる映像がある場合はキャプチャーできません。
PlayStation3やPS Vita TVのHDMI信号	HDCPが含まれるためキャプチャーできません。
PlayStation4のHDMI信号	ゲーム機のファームウェアを最新版にアップデートすることで、著作権保護を含まないゲーム映像をキャプチャーできます。
Xbox360/XboxOneのHDMI信号	システム画面やゲーム映像はキャプチャー可能ですが、DVD再生時や著作権保護された映像はHDCPが含まれるためキャプチャーできません。
Blu-ray/DVD/DVD-R/DVD-RWのHDMI信号	HDCPが含まれるためキャプチャーできません。
パソコンのDVI-D信号やHDMI信号	システム画面やゲーム映像はキャプチャー可能ですが、DVDやBlu-ray映像、デジタル放送（地デジ、BS/CS）の映像、著作権保護されたWebコンテンツが表示される場合はHDCPが含まれるため、キャプチャーできません。
iPhone/iPad/Android スマホや、各社メディアプレイヤーのHDMI信号	HDCPが含まれるためキャプチャーできません。AppleTV、Androidメディアプレイヤーも同様。
コンボイネットやコンボジット、Sビデオでコピープロテクト信号が含まれるとき	コピープロテクトを自動検出しますのでキャプチャーできません。ビデオテープの再生映像などはコピープロテクトが無い場合でも再生映像が安定しないため、キャプチャーできない場合があります。

※著作権保護（HDCP）を含む映像は、スルー出力できません。スルー出力は砂嵐のノイズに乱れます。録画もできません。 ※SONY社が販売したパソコンVAIOシリーズのHDMI信号は、著作権保護（HDCP）が常に含まれる機種があります。 ※Apple社MACのHDMI信号やDisplayPort信号（TypeCも含む）をHDMIに変換した信号には対応していません。

### 動作に関する制限

- 本機では下記の操作をするとビデオキーパー・ライトが正しく動作しないことがあります。
- ビデオキーパー・ライトを使用中にそのパソコンの画面解像度を変更した場合、プレビューウィンドウのサイズがおかしくなります。また、録画中に解像度を変更すると、録画は停止します（特殊録画が「オフ」の場合）。
- キャプチャーや録画をしながらメディアプレイヤー・アプリケーションなどで、動画（特にCPU負荷が大きい物）を再生した場合、利用中のアプリケーションや、OSの動作が不安定になる場合があります。
- マルチディスプレイ環境で、録画中にプレビューウィンドウを「プライマリセカンダリ」または「セカンダリープライマリ」の様に移動させると表示やプレビューウィンドウのサイズが正常に表示されなくなる場合があります。
- マルチディスプレイ環境で、録画中にプレビューウィンドウを「プライマリセカンダリ」または「セカンダリープライマリ」の様に移動させると正常に録画を行うことができません。録画時はこのような操作をしないでください。

### 録画に関する制限

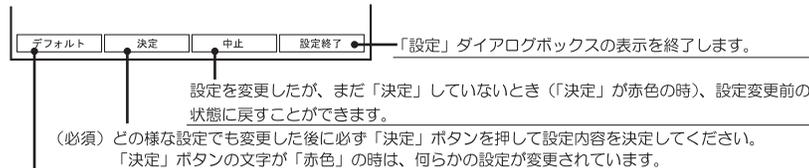
- ビデオキーパー・ライト起動直後は十分なフレームレート (fps) が得られない場合があります。
- 他のアプリケーションでCPUのパフォーマンスが低下すると、フレームレート (fps) が低下することがあります。また、映像の変化が激しい場合は、フレームレートの低下が発生することがあります。
- 著作権保護の含まれる信号は表示と録画（キャプチャー）ができません。
- 入力信号が物理的に途切れると録画は自動的に終了します。
- 録画中に画面の解像度が変更されたり映像が途切れると録画が自動的に終了します。
- インターレース映像とノンインターレース映像が交互に変化する映像では、解像度が変更されたら判断し、録画が自動的に終了します。インターレース映像とノンインターレース映像が交互に切り替わるゲーム映像を録画される際はご了承ください。
- ビデオテープの再生映像の様に乱れた映像信号の場合は、正しく表示・録画できなったり、録画が自動的に終了することがあります。ビデオテープの再生映像の入力はおすすめできません。
- 本製品の映像処理はYUY2という方式を使用しています。このため、色の再現性はRGB方式に比べると低くなります。YUY2方式でカラー情報を扱う場合、水平方向に2ピクセルで1色程度の色再現性しかありません。こういった特性から主にパソコンなどで文字（白以外のテキスト文字）などを表示される場合、綺麗な文字表示ができない場合があります。また、この特性によりPC-9801のゲームの様に網掛けで色を表現している映像は、色がおかしくなったり、カラー映像であっても、1ピクセルモノクロでキャプチャーされてしまう場合があります。
- 短い期間で録画を中止すると、再生できない動画ファイルができてしまう場合があります。

### ビデオキーパー・ライト使用中にXCAPTURE-1の取り付けや、取り外しを行わない

ビデオキーパー・ライトを使用中に、XCAPTURE-1をパソコンに取り付けたら、取り外ししないでください。XCAPTURE-1をパソコンに取り付けた後に、ビデオキーパー・ライトを起動してください。また、XCAPTURE-1を、パソコンから取り外したいときは、必ずビデオキーパー・ライトを終了した後に取り外し作業を行ってください。

## 「設定（設定ダイアログボックス）」の操作

「設定」を行ったり、「設定」を終了する際は下記の説明を参考にしてください。



設定内容をインストール時の標準設定に戻します。

## キャプチャー設定

### 録画品質

録画時のビットレート（画質）を選択することができます。

- 高 高画質で録画することができます。録画したデータ容量は大きくなります。
- 中 標準的な画質で録画することができます。
- 低 低画質で録画することができます。録画したデータ容量は小さくなります。

手動 水平ピクセルの解像度ごとにビットレートを指定可能です。  
※録画中に録画品質を変更しても設定は反映されません。

### GPU 支援機能

GPU 支援機能を利用可能にします。  
GPU 支援機能を利用しているときは、録画時の CPU 負荷を低減できます。有効なエンコード支援は、使用しているパソコンの GPU に依存します。「GPU 確認」ボタンを押して、使用しているパソコンの GPU を確認し、選択（任意で手動選択）してください。

なし : CPU でエンコードします。  
intel QuickSyncVideo : intel 社の GPU 支援を利用します。  
nVIDIA NVENC : nVIDIA 社の GPU 支援を利用します。  
※GPUの種類や世代によって、GPU 支援を利用できない場合があります。  
※パソコンに intel 社以外の GPU が搭載されている場合は、intel QuickSyncVideo は利用できません。

### 静止画品質

静止画（JPEG）撮影時の画質を選択することができます。

- 高 高画質で撮影することができます。100%の設定（画質優先）で記録します。
- 中 標準画質で記録することができます。
- 低 低画質で記録することができます。

### 録画条件設定

回転時の回転映像録画（試験実装の機能）

回転表示を行っているときに、回転した状態で録画するかどうかを選択する機能です。試験的に実装しています。チェックボックスをチェックしている場合は、回転した状態で録画します。チェックされていないときは、プレビュー表示は回転していますが、録画データは回転しません。なお、回転した状態で録画すると、GPU 支援の有無に関係なく、パソコンのリソースを著しく消費するため、回転した状態で画面や音声がかかるなど正しく録画できないことがあります。この機能は「その他」の「回転、ミラーモード」と関連があります。

残量 10G ストップ

※本機能は、製品の動作保証範囲に含まれません。  
チェックボックスをチェックしているときは、録画先のストレージ容量（ハードディスクなど）の残量が 10GByte 以下になったとき、録画を自動停止します。チェックされていないときは、残量が 1GByte 以下になったとき録画を自動停止します。この制限は、静止画においても同様です。以下の「指定」を行っているときも有効です。

指定なし 以下の録画条件を使用しません。

残り時間 指定した時間が経過したら、録画を停止します。あと「〇〇時間録画したい」というときに使用します。

時間 指定した時間単位でファイルを分割して録画を継続します。

サイズ 指定したファイル容量でファイルを分割して録画を継続します。

## チャンネル設定

### 入力チャンネル

入力信号のチャンネルを選択することができます。

- コンポーネント コンポーネント・ビデオ信号のチャンネルを選択します。
- DVI-D DVI-D 信号のチャンネルを選択します。
- RGB RGB 信号（アナログ RGB）のチャンネルを選択します。
- HDMI HDMI 信号のチャンネルを選択します。
- ビデオ ビデオ信号（コンポジット・ビデオ）のチャンネルを選択します。
- S ビデオ S ビデオ信号のチャンネルを選択します。
- SDI SDI 信号のチャンネルを選択します。

※ご利用のキャプチャーデバイスに無い端子は選択できません。

### アスペクト

プレビュー映像のアスペクト（画面比率）を選択することができます。

- 自動 プレビュー映像の画面比率を自動で設定します。
- ワイド プレビュー映像を 16:9 または 16:10 の画面比率で表示します。
- ノーマル プレビュー映像を 4:3 または 5:4 の画面比率で表示します。

### デインターレース

入力映像がインターレース方式の時、映像をプログレッシブ化（60→30p 変換処理）する際の映像処理の度合いを選択できます。

- 高 映像の鮮明度は低下しますが、動きの激しい映像でも、画像が「くし形」になりません。
- 中 「高」に比べ映像の鮮明度は向上しますが、動きの激しい映像で、若干画像が「くし形」になります。
- 低 「中」に比べ映像の鮮明度は向上しますが、動きの激しい映像で、若干画像が「くし形」になります。
- OFF 映像は鮮明ですが、画像がくし形になります。

## 特殊調整設定

映像の表示位置や明るさなど画面の調整を行うことができます。

映像の、明るさ、コントラスト、色合い、鮮やかさ、鮮明度を調整できます。

### 画面調整

「明るさ」「コントラスト」「色合い」「鮮やかさ」「鮮明度」の調整ができます。これらの設定はすべての入力チャンネルに対して共通です（チャンネルごとに個別の設定を行えません）が、特定の入力チャンネルにのみ有効な機能もあります。

初期設定値は下記となっています。  
明るさ : 128  
コントラスト : 128  
色合い : 128  
鮮やか : 128  
鮮明度 : 32

### RGB 画面調整

アナログ RGB 入力時の画面を調整する機能です。RGB 用の機能ですが、内部構造の都合で D 端子（コンポーネントビデオ）の映像も同時に変化します。

「RGB SYNC SOG」機能は試験的に実装している機能です。RGB 入力でシンク・オン・グリーン同期に対応するための機能です。シンク・オン・グリーン対応のデバイスで利用します。  
※本機能は、製品の動作保証範囲には含まれません。

## 保存場所と名前の設定

### 録画保存場所 / 静止画保存場所

録画ファイルと静止画ファイルの保存先を指定できます。

プロジェクト名をファイル名に追加  
プロジェクトや企画別にファイルを識別したい時、ファイル名にプロジェクト名を追加することができます。プロジェクト名を記入後は、チェックボックスを有効にしてください。

### 担当者

担当者でファイルを識別したい時、ファイル名に担当者名を追加することができます。担当者名を記入後は、チェックボックスを有効にしてください。

### ファイル名自動

録画や静止画のデータ・ファイルのファイル名に自動で付けられるファイル名を選択できます。

日付 ファイルが作成された日にちや時間をファイル名にします。

連番 ファイルが作成された順に番号をファイル名にします。

## 特殊録画設定

### 特殊録画

「特殊録画設定の状態」で録画を有効にすることで特殊録画の機能を使用することができます。

「オン」: 現在録画中の解像度、もしくは設定された解像度で録画を継続します。解像度が変わったり、入力信号が無くなっても解像度固定で録画が継続されます（映像信号が無いときは「NO SIGNAL」の画像を録画します）。「オフ」: 入力信号が無くなったり解像度が変化すると録画が中断されます。

### 入力解像度優先

すでに映像が入力されているときは映像信号が途切れても入力されている信号と同じ解像度で録画を継続します。映像信号が最初から無いときは、指定された解像度で録画します。

設定解像度優先: 指定された下記の解像度で録画します。

※特殊録画は、どのような状況でも正常な動作を保証するものではありません。入力される信号の特性や映像・音声が入力されるタイミングによっては録画を継続しない場合があります。※弊社の経験上、どんなに立派に設計された映像機器やゲーム機からの映像出力でも、数日間連続で稼働すると、HDMI 信号などが稀に一瞬途切れることがあるようです。長時間のエンコーディング記録などの際には「特殊録画」をご利用ください。

## ビデオ/S 信号設定

ビデオ（コンポジット・ビデオ）や S ビデオ信号の信号方式を選択することができます。ビデオや S ビデオの入力が可能なキャプチャーデバイスで使用可能です。なお、設定に関係なく自動で識別できるものは自動で識別します。

### 信号規格

- NTSC J
- NTSC M
- PAL
- PAL 60
- PAL M

NTSC J NTSC J 方式のゲーム機や映像機器の映像信号を入力する際に選択します。

参考: 日本国内向けに販売される機器は NTSC J です。

NTSC M NTSC M 方式のゲーム機や映像機器の映像信号を入力する際に選択します。

PAL PAL 方式のゲーム機や映像機器の映像信号を入力する際に選択します。

PAL60 PAL60 方式のゲーム機や映像機器の映像信号を入力する際に選択します。

PAL M PAL M 方式のゲーム機や映像機器の映像信号を入力する際に選択します。

## その他の設定

### 言語設定

メッセージの言語を選択できます（変更すると本アプリケーションは再起動されます）。

日本語 メッセージや文字表示を日本語に設定します。

English メッセージや文字表示を英語に設定します。

### キーフレーム

キーフレームを変更できます。

30 キーフレームを 30 に設定します。

60 キーフレームを 60 に設定します。

### 録画モード

動画を録画する際、録画モード（コーデック）を選択できます。

H.264+AAC 標準の録画方式です。映像は MPEG4 AVC、音声は AAC で録画します。VBR: 可変ビットレートで記録します。CBR: 固定ビットレートで記録します。

### 非圧縮 AVI+PCM

映像は非圧縮の AVI で録画します。音声は非圧縮の PCM で録音します。高画質・高音質ですが、必要とされるパソコンのストレージは高い性能が要求されます。

### H.264 録画拡張子名

H.264 録画時のファイル（コンテンツ）の拡張子を指定できます。「mp4」以外に設定すると、特定の再生アプリケーションで再生できなかったり、特定の編集アプリケーションで編集できない場合がありますが、ご了承ください。

### デバイス選択

使用するキャプチャー機器（デバイス）を選択することができます。選択後に「決定」ボタンを押すと、本アプリケーションは再起動されます。

### 設定表示

設定ダイアログボックスを他のウィンドウ表示よりも優先表示（手前に表示）するかどうかを選択する機能です。

## 音声設定

音声設定は、HDMI 端子の場合「デジタル（HDMI 音声）」、「アナログ（前面の RCA 端子 [D 端子用]）」を選択することができます。その他の入力においても、パソコン側のマイク入力やライン入力を指定できます。

なお、マイク入力やライン入力は、パソコンの構造上同時に利用できない場合があります（マイクが接続されている場合は優先されるなど）。マイク入力やライン入力を指定する場合は、ダイアログボックス下部のデバイスを選択した後に設定してください。

※パソコンの構造によっては、ライン入力が利用できない場合があります。 ※機能詳細は Web ページの補足マニュアルをご覧ください。

## OSD 設定（試験実装の機能）

プレビューウィンドウ上に文字やカメラ映像をオーバーレイしたり、それらを半透明で表示できます。

### ウォーターマーク画像選択

BMP 形式の任意の画像を、プレビューウィンドウ上にオーバーレイできます。画像の白い部分（R:000, G:000, B:000）のピクセルは、完全に透ける（透明）構造となっています。「透明度」では、オーバーレイ画像の白以外の透明度を調整できるため、ウォーターマークとして利用できます。ただし、微細な模様（1ピクセル単位の網掛け模様など）の画像をオーバーレイすると、録画時のエンコードでパソコンのリソースを著しく使用するため録画、及び録画時のプレビュー表示のフレームレートを激減します。特に HD 解像度の映像をキャプチャーする際は、オーバーレイする画像をよく吟味してください。

### USB カメラオーバーレイ

USB カメラ映像をオーバーレイできます。透明度と、表示場所を指定できます。 ※XCAPTURE-1 以外に複数のキャプチャーデバイスがあると、そちらが優先されてしまうため、それらは取り外すなどしてください。なお、現在カメラ側の解像度やアスペクトなどの設定は変更できません。

### 文字合成

録画や記録に便利な文字（時間やカウンターなど）や文章をオーバーレイできます。透明度と、表示場所を指定できます。「プロジェクト名」、「担当者名」、「保存場所と名前の設定」の「プロジェクト名をファイル名に追加」と「担当者」をファイル名に追加で指定した文字が適用されます。「コメント」の欄には任意の文字を入力できます。 ※本機能は、試験実装のため製品の動作保証範囲には含まれません。 ※機能詳細は Web ページの補足マニュアルをご覧ください。